

平成 28 年度事業計画書

1 事業実施方針

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する啓発やリサイクルの推進・普及及び施設周辺の自然環境保全や希少植物の保護事業に取り組むなど、安全で安心な生活環境の保全を促進するため、次の事業を積極的に推進する。

2 廃棄物処理事業（定款第 4 条第 1 号及び第 2 号関係）

実 施 項 目	目 標
処理場の適正な運営・管理の推進 ① 廃棄物の処理については関係法令を遵守し適正に処理する。 ② 廃棄物排出業者等から廃棄物の動向や受入れ要望を把握し、廃棄物の処理需要に即した処理・対応を行う。 ③ 環境・水質調査の実施による環境影響評価の継続的監視を行う。	受入目標量40,000t (別表「廃棄物処理計画」) 動向等把握の実施 基準超過 0 件

3 廃棄物の適正処理の啓発及びリサイクルの推進・普及事業（定款第 4 条第 3 号及び第 4 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 廃棄物の適正処理に関する啓発 ① ホームページ等により産業廃棄物の適正処理に関する解説・説明を行うほか、受入廃棄物の性状確認のため排出事業者へ検査成績書の提出を求めるなどにより廃棄物の適正処理を促進する。 ② 視察者の受け入れや施設公開の実施を通じて、廃棄物の処理方法や公害防止の取組状況等を紹介するほか、環境測定結果等に関する情報提供などにより生活環境の保全についての啓発を行う。 (2) リサイクルの推進・普及 ホームページ等を通じて、リサイクル事例やリサイクル推進の取組事例を紹介することなどによりリサイクルの推進・普及を図る。	ホームページ更新 2回/月以上 8月 施設公開 事例紹介 1回/年以上

4 自然環境保全等事業（定款第 4 条第 5 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 施設周辺自然環境保全 廃棄物処理施設の整備時に移植した樹木を適切に管理するとともに、センター周辺道路等の環境美化活動等を実施し、自然環境の保全を行う。 (2) 希少植物保護 自生する植物の生態系保護活動の一環としてビオトープに移植した希少植物の生育状況を定期的に観察するとともに、地元小学生や地域住民と一緒に環境保全の大切さを学ぶ環境学習の機会として観察会を開催する。	環境美化活動 2回(春・秋)実施 8月 観察会開催

5 管理業務等（定款第 4 条第 6 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 八幡平市平舘（栴沢）地区最終処分場整備事業 整備予定地の測量を実施するほか、整備基本計画の策定、基本設計、環境影響評価方法書の公告・縦覧など、最終処分場の整備に向けて必要な手続きを行う。 (2) 浸出水集排水管等改築工事 電気伝導率異常事象発生に係る不具合箇所の改築工事を行う。 (3) 焼却業務の休止に伴う切替工事及び焼却施設の解体 焼却業務の休止に伴う関連設備（電気・水道等）の切替工事を行うとともに、焼却施設の廃止手続きを進め、焼却施設の解体に着手する。	・整備基本計画の策定、基本設計 ・環境影響評価方法書公告、縦覧 改築工事完了 廃止手続きの完了

平成28年度 収支補正予算書（損益計算書ベース）

総括

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	補正前の予算額	補正額	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	1	0	1	
②事業収益				
処理事業収入	910,000	0	910,000	
処理事業収入(建設基金振替)	3,000	0	3,000	
③受取補助金等				
受取補助金	180	0	180	
受取補助金等振替額	75,000	0	75,000	
④雑収益				
受取利息	225	0	225	
雑収益	1,500	0	1,500	
経常収益計	989,906	0	989,906	
(2) 経常費用				
①事業費	(610,042)	(△ 43,000)	(567,042)	
役員報酬	3,133	0	3,133	
給料手当	16,314	0	16,314	
臨時雇賃金	8,808	0	8,808	
退職給付費用	1,765	0	1,765	
福利厚生費	5,682	0	5,682	
賞与引当金繰入額	1,281	0	1,281	
旅費交通費	1,232	0	1,232	
通信運搬費	2,740	0	2,740	
減価償却費	244,997	0	244,997	
消耗品費	24,080	0	24,080	
修繕費	38,100	0	38,100	
点検料	25,458	0	25,458	
燃料費	5,858	0	5,858	
光熱水料費	28,001	0	28,001	
賃借料	1,912	0	1,912	
保険料	7,551	0	7,551	
租税公課	21,775	0	21,775	
支払負担金	21,462	0	21,462	
支払利息	18,507	0	18,507	
手数料	977	0	977	
委託費	86,294	0	86,294	
貸倒損失	37,000	△ 37,000	0	
貸倒引当金繰入	6,200	△ 6,000	200	
その他 事業費	915	0	915	
②管理費	(9,565)	(0)	(9,565)	
役員報酬	3,727	0	3,727	
給料手当	1,757	0	1,757	
退職給付費用	169	0	169	
福利厚生費	814	0	814	
賞与引当金繰入額	138	0	138	
旅費交通費	200	0	200	
減価償却費	661	0	661	
光熱水料費	912	0	912	
租税公課	176	0	176	
手数料	800	0	800	
その他 管理費	211	0	211	
経常費用計	619,607	△ 43,000	576,607	
当期経常増減額	370,299	43,000	413,299	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
貸倒引当金戻入額	45,000	△ 45,000	0	
損害賠償金	8,000	0	8,000	
経常外収益計	53,000	△ 45,000	8,000	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	43,735	0	43,735	
焼却施設解体費	191,333	△ 191,333	0	
電気伝導率対策費用	18,600	0	18,600	
経常外費用計	253,668	△ 191,333	62,335	
当期経常外増減額	△ 200,668	146,333	△ 54,335	
税引前当期一般正味財産増減額	169,631	189,333	358,964	
法人税・住民税及び事業税	4,912	0	4,912	
法人税等調整額	110,318	0	110,318	
当期一般正味財産増減額	54,401	189,333	243,734	
一般正味財産期首残高	2,709,898	43,664	2,753,562	
一般正味財産期末残高	2,764,299	232,997	2,997,296	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	75,000	0	75,000	
当期指定正味財産増減額	△ 75,000	0	△ 75,000	
指定正味財産期首残高	855,449	△ 5,537	849,912	
指定正味財産期末残高	780,449	△ 5,537	774,912	
III 正味財産期末残高	3,544,748	227,460	3,772,208	